

教育分野における個別計画等の整理について

教育分野における4つの個別計画と1つのアクションプランについて整理し、次期計画策定時に港区教育推進計画として1つに統合します。

1 現在の個別計画、アクションプランについて

港区教育ビジョンを実現させるための具体的な施策や取組を示した4つの個別計画に加え、公私立幼稚園で協議し幼児教育の方向性を示す港区幼児教育振興アクションプランがあります。

- ・港区生涯学習推進計画
- ・港区スポーツ推進計画
- ・港区立図書館サービス推進計画
- ・港区学校教育推進計画
- ・港区幼児教育振興アクションプラン

2 現在の体系となった経緯

現行の港区教育ビジョン策定にあたって、平成26年度に教育における各計画の体系整理を行いました。それまでは計画期間を3年間とする港区教育振興プランに6つの個別計画が紐づけられていましたが、計画期間のばらつきや内容の重複がありました。港区教育振興プランと6つの計画を整理した結果、計画期間を10年間とする港区教育ビジョンと、そのもとに計画期間を基本計画と同じくする5つの個別計画、1つのアクションプランを策定することとしました。令和3年度に港区子ども読書活動推進計画が港区立図書館サービス推進計画に統合され、現在個別計画は4つとなっています。

3 個別計画の整理の必要性

教育施策を貫く計画を策定することで、施策全体をわかりやすく示しながら分野横断的な取組を推進するとともに、計画策定に係る事務を効率化します。

現在、個別計画やアクションプランはそれぞれ100ページ程度の分量があり、内容の充実が図られている一方で、教育施策の全体を把握しづらい状況となっています。教育を取り巻く課題は年々複雑化しており、課題を整理したうえでこれまでの区の成果と照らし合わせることで、分野横断的な取組を含め、今後の施策・取組について体系的に明らかにする必要があります。

また、現在の個別計画において、踏まえるべき背景や資料編などの項目で共通している部分があることに加え、令和5年度に改定した計画では、取組が関係する他計画を関連計画として記載し、その内容をQRコードで閲覧できるようにしたことから、紙面の効率化を図る余地が十分にあります。

現在は4つの計画、アクションプランがそれぞれに検討委員会や検討会を持ち、区民意見募集や説明会に係る事務も各課で行っており、計画を分けていることによる事務の増大が顕在化しています。さらに、近年行政計画の統合化、一本化の傾向が高まっており、区においても、港区基本構想の検討とあわせ、庁内の個別計画を整理・統合する動きがみられます。

こうしたことから、個別計画を統合し、内容や策定過程を見直す必要があります。また、全庁的な計画体系の見直しに伴い、港区教育ビジョンと港区教育推進計画の統合も視野に体系整理についても今後検討をします。

4 統合後の計画骨子イメージ

踏まえるべき背景や課題等、計画策定の前提となる様々な情報を「総論」として1つにまとめます。施策については、これまで個別計画として策定していた各分野を「分野別計画」の中に章ごとに掲載します。

第1部 総論

第2部 分野別計画

第1章 学校教育

第2章 生涯学習

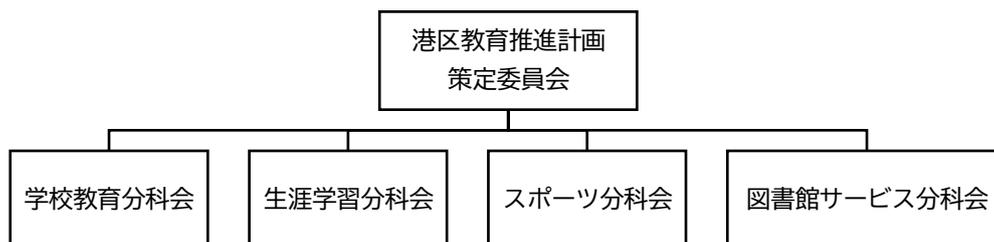
第3章 スポーツ

第4章 図書館サービス

第5章 教育支援（その他の教育施策）

5 策定に係る検討体制について

学識経験者等の外部委員を含めた策定委員会を教育委員会で1つ運営するとともに、各分野における分科会を立ち上げ、検討を行っていきます。



6 幼児教育の施策・取組の掲載について

現在、幼児教育の施策・取組は、同様の内容が港区学校教育推進計画と港区幼児教育振興アクションプランの2つにまたがり掲載されていますが、次回策定以降、港区教育推進計画の学校教育の部分に一本化して掲載します。

港区幼児教育振興アクションプランについては、港区教育推進計画に基づいて公私立幼稚園で共有すべき行動の方向性を確認し合うものとして、港区公私立幼稚園連絡協議会で協議し決定した事項を掲載する印刷物として作成します。